



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「一つとなる力」	“The Power of One”
アジア地域会長主題	「一つとなる力」	“The Power of One”
西日本区理事主題	「すべてのいのちを大切に」	“Love & Care for All the Living Things”
中部部長主題	「ワイズの理念を胸に自信を持って活動しよう」	
金沢クラブ会長主題	「クラブの活性化に努める」	

12月間強調

EMC-M

2009

今月の聖句

その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群の番をしていた。すると、主の天使が近づき主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。今日ダビデの町で、あなた方のために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。 ルカによる福音書2章8～11節

12月強調月間

人は力です。みんなの力で
2000 目指してゆきましょう。

EMC 事業主任 廣井武司
(京都プリンスクラブ)

12月例会プログラム

とき	2009年12月17日(木) 18:30~20:30	
ところ	金沢ニューグランドホテル	
	司会	山内 健司君
開会・点鐘	数澤	会長
主 題	司会	者
ワイズ・ソング	一	同
今月の聖句	司会	者
スピーカー紹介	澁谷	洋太郎君
讚美のとき		
説教	日本基督教団金沢教会	阿部倫太郎伝道師
食前の感謝	伊藤	仁信君
親睦のとき	メネット	会
	ハッピーバースデー	ゲームなど
委員会報告	各	委員
ニコニコタイム	幸正	一誠君
YMCAの歌	一	同
閉会・点鐘	数澤	会長

11月クラブ活動状況

第1例会 (11月19日 Thu.)

メ ン：伊藤、影山、数澤、幸正、高口、斉藤
澁谷、山内、山谷 (9名)

出席率：100%

メネット：伊藤、数澤、高口、斉藤、澁谷、山内、
山谷 (7名)

ゲスト：なし

広義会員：なし

功労会員：なし

第2例会 (11月1日 Sun.)

メ ン：伊藤、数澤、澁谷、山内

メネット：山内

ニコニコタイム

11,000円

クラブファンド 累計 52,500円

B Fポイント

切手 0 kg 累計 0 kg

現金 0円 累計 0円

会 長	数澤 輝夫	書 記	幸正 一誠
副 会 長	山内 健司	会 計	澁谷洋太郎
	高口 昇	メネット会長	山内ミハル
直前会長	伊藤 仁信		

第一例会：毎月第三木曜日 18:30~20:30

金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311

第二例会：毎月1日 18:30~20:00

金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

日本プロテスタント伝道 150 年に際して

山内 健司

✠ 日本二十六聖人のこと

もう 40 年ほど前のこと、私の初任地の北陸学院高等部で、修学旅行の計画にたずさわったことがあった。行先は長崎方面とのことで、JTB などと相談して、皿うどんやカステラなどの食べ物もいいが、何か長崎であるからキリシタンの足跡のあるところがないかと調べたら、浦上二十六聖人の教会があることが判明した。二十六聖人とは 1597 年、豊臣秀吉の命令によって長崎で処刑された 26 人のカトリック信徒のことである。1596 年、秀吉は禁教令を公布し、石田三成に京都に住むフランシスコ会員とキリスト教徒を捕縛して処刑するよう命じた。大阪と京都でフランシスコ会員 7 名と信徒 14 名、イエズス会関係者の計 24 名が捕縛され、京都堀川通り一条戻り橋で、左の耳たぶを切り落とされて市中引き回しとなった。1597 年、長崎で処刑せよとの命を受けて、歩いて長崎へ向かうことになった。道中で世話をするようにと、2 人の信徒も加えられた。一行の中に 12 歳の少年ルドリコ茨木がいるのを見て、責任者は気の毒に思い、信仰を捨てることを条件に助けようとしたが、少年はこの申し出を断った。26 人は長崎の西坂の丘の上で処刑が決まり、4,000 人を越える群衆が集まった。一行が槍で両脇を刺し抜かれて殉教したのは午前 10 時頃であった。1862 年、ローマ教皇によって列聖され、聖人の列に加えられた。二十六聖人のうち日本人は 20 名、スペイン人が 4 名、メキシコ人、ポルトガル人各 1 名であった。

✠ プロテスタント伝道の開始

1873 年キリシタン禁制の高札が撤廃されると、米国の諸ミッションは次々と宣教師を送り込んできた。最初は J.リギンス、C.H.ウィリアムズ(アメリカ聖公会)、J.C.ヘボン(アメリカ長老教会)、S.R.ブラウン、D.B.シモンズ、G.H.フルベツキ(アメリカ オランダ改革派教会)の 6 名であった。

✠ 3 バンドの設立

(1) 横浜バンド

S.R.ブラウン、J.H.バラ等の私塾を中心に植村正久などの青年が立ち上がり信仰を告白。

(2) 熊本バンド

熊本洋学校の米人宣教師 L.L.ジェーンズの教えを受けた生徒 35 名が「奉教趣意書」に署名(1876 年)、花崗山にて宣誓。海老名弾正、金森通倫など。

(3) 札幌バンド

札幌 学校の生徒がクラークの指導により「イエス

を信ずる者の誓約」に署名、第 1 期生 16 名全員、第 2 期生 15 名、新渡戸稲造、内村鑑三ら。

✠ 金沢では

- ・T.C.ウィン、1879 年ヘボンの推薦により石川県中学教師師範学校に赴任、日本基督教団金沢教会設立
- ・J.W.D r サンビー、D.R.マッケンジー 1908 年白銀教会設立、1910 年長町教会設立

私たちの先人たちが、あのキリシタンの少年の瞳のように、また、未知の国への宣教師たちが命を掛けての福音伝道の業に励まれたことを感謝すると共に、若き青年たちの心意気に倣いたいものである。

11 月例会報告

ドイツ個人旅行

齊藤 千代氏

本を読んでその中に出てくる場所、風景を想像し、心の中で旅をするのが前から好きでした。国内旅行もいいが、それはいつでも行く機会があると主人に言われて、海外に出掛けることが度々あります。ツアーになると忙しく時間もとれないので、今回は自分のプランで旅程を組み、ドイツのどこがいいかを友人や知り合いから、ファックスやパソコンなどを通じて情報を集めたり、時にはドイツ観光局、JTB などに相談し、航空機もエコノミークラスでは年も年だからと、ビジネスクラスにして、ドイツへ教会音楽の音色を求めて行くことにしました。ケルンの大聖堂でのオルガンの演奏会を聞いたり、オペラ観賞を楽しみながら、6 月末から 7 月にかけて主人と二人でドイツを旅しました。周りから二人で大丈夫かとの声もありましたが、現地の日本人の方々から助けられて、どうにか無事に帰って来ました。(以下はパワーポイントにより説明があった。)



久しぶりに金沢クラブ全員集合!

- ・ビッテンベルグ：ルターの95箇条の提言を求めて
- ・ベルガモン博物館：友人から推薦をうけて
- ・ポツダム：大阪で小学生の頃、空からビラが落ちてきたことから、ポツダム宣言に興味を覚えて
- ・ニコラス教会：バッハの活動の足跡に思いを馳せて、オルガン演奏を聴く
- ・ドレスデンでは聖母教会の修理復元の姿を見て感動
- ・土産物の少ないことに気がついて、ドレスデンで宿泊していたヒルトンホテルで見た可愛いミニチュアの部屋セットが忘れられず、主人に荷物の番してもらって、駅から戻って一人で買いに行ったり、ソーセージを買ったりした。

とにかくオルガンとオペラの毎日を過ごしました。主人への感謝の気持ちと退職記念として2週間の旅を楽しんで来ました。

ツアーと違って、自分の時間がゆっくり持てたこと、食事がどれも美味しかったこと、しかし量が多いので、一人分を二人で分けていただいたこと、ビジネスクラスを利用したことが非常によかったです。

(文責 山内 健司)

☆EMC 目標

金沢クラブの目標は5名です。

全員でアタック、目標達成を目指して頑張ろう！

☆第7回 金沢わいわい寄席

成功裡に終わりました。皆様のご協力を感謝します。当日の収益金 150,000 円を金沢 YMCA の青少年事業活動のために贈呈します。

☆滋賀蒲生野クラブ 20 周年記念例会

日時 2010年3月7日(日)

場所 ホテルニューオウミ

(JR 琵琶湖線近江八幡駅から徒歩3分)

登録費 10,000 円

申込締切 2010年2月7日(日)

☆第13回西日本区大会

日時 2010年6月12日(土)～13日(日)

場所 広島国際会議場・リーガロイヤルホテル

登録料 20,000 円

Happy Birthday

メネット 澁谷 節子さん 12月23日
小笠原 勝美さん 12月12日

阿部倫太郎氏 プロフィール

1983年生まれ。埼玉県小川町出身。

東北学院大学を卒業後、東京神学大学編入学、2009年3月卒業。同年4月、日本基督教団 金沢教会伝道師に就任。

☆周年記念例会のお知らせ

2010年2月20日(土) 11:30～15:00

神戸クラブ 80周年

2010年2月20日(土) 16:00～19:30

京都エイブルクラブ 20周年

2010年3月7日(日) 11:00～14:30

滋賀蒲生野クラブ 20周年

2010年5月5日(水・祝)

京都ウェストクラブ 30周年

☆第69回ワイズメンズクラブ国際協会・国際大会

日時 2010年8月5日(木)～8日(日)

場所 パシフィコ横浜(横浜市)

テーマ 「いのち」未来への継承

—私たちの地球のために—

☆お願い

①12月例会で集めます。

・YMCA サービス・ユース献金 1,500 円

(担当：高口君、山谷君、影山君)

・整理済の古切手 (担当：高口君)

②1月例会で集めます

・TOF 1,700 円、FF 800 円、合計2,500 円

(担当：高口君)

③2月例会で集めます

・CS 1,500 円、BF 1,650 円、合計3,150 円

(担当：高口君、山谷君)

~~~~~ YMCA だより ~~~~~

☆早天祈祷会

1月は休会となります。

☆ユニセフ街頭募金

12月23日(水) 13:30 YMCA を出発

1月の担当

1月ブリテン執筆：山谷 澄君

山内 ミハルメネット

1月卓話担当：山谷 澄君

原稿は12月20日までに編集委員まで提出下さい

母教会の献堂式

去る、10月24日(土)岐阜県中津川市にある母教会の献堂式に出かけた。

朝8時半に主人と一緒に出発、金沢教会に立ち寄り同行するYさんに乗せて高速道路に入った。いつも、実家へ行く時は西インターから米原経由で行くので、私の頭の中にはそのコースがインプットされているのだが、東へ向かったのできっと41号線神岡・高山・下呂経由で走るのだと思っていたら、東海北陸道に入ったのでこの道は初めてであり興味津々であった。ところが、トンネルまたトンネルで面喰っているうちに、ひるがの高原で休憩地理にうとい私はどのあたりにひるがのがあるのかピンとこない。美濃へ向かっていると判って一安心。そのうちにトンネルを抜けた途端、予想もしていなかった、それはそれは美しい紅葉した山々が目に飛び込んできた。いつも、秋のバス旅行で「紅葉を見に行こう」「紅葉狩り」が目的で出かけても、なかなか真つ盛りに出会うことがなく早かったり、遅かったりなのに、本当に思いがけない景色と遭遇！紅葉と杉の木立の緑のコントラストにトンネルを抜けるたびに[うわーきれい]の連発。もみじの童謡の歌詞にあるように「カエデやツタは～赤や黄色の裾模様」とつい歌いたくなるような映える紅葉を眺めて感動でした。無事に中央道の中津川に到着。妹の心づくしの昼食をごちそうになり、今日の目的である中津川教会の献堂式に出席。東京・横浜・所沢・静岡・茅ヶ崎・長野・名古屋・岡山・金沢と各地から120名も集い、会堂建築という一大事業の完成を共々に祝うことができました。

主人とYさんは若き青年時代に一緒に受洗した教会であり、私は幼少の頃より通った教会です。会堂は当時の場所に新築され建築業者も親子2代の方であり驚きました。備品類も見覚えのある説教台・長椅子・オルガンも古いままで、当時のことが懐かしく思い出されました。当時は子供たちは遊びに行くところもなく、娯楽もない時代でしたので日曜学校はいつもいっぱい腰かけられなくて、空いている床も埋まるほど大勢の子どもたちが集まってきていました。特にクリスマスの祝会は満員で皆勤賞、精励賞をもらうのに牧師のところへ出て行くのも大変なくらいでした。それがどうでしょう、少子化時代とはいえ今では10名たらずのようです。新しい会堂に多くの方が足を運び、主からの恵みに預かることが出来るようにと心から祈っています。

(澁谷 節子 記)

11月例会 「芋煮会」の報告

地球温暖化の影響か、時々とんでもない天候に見舞われる昨今です。これまで11月3日は、好天気の特異日と言われてきたのに、今年は気象庁の予報では大寒波襲来、とても野外でのんびり芋煮を楽しめる天気ではありませんでした。主催者であるメネットの参加者も今回はたった3名、いろんな事態を想定すると、今回は中止するのが懸命かと2、3のメネットと実施を危ぶんだのですが、熱心というかとても楽しみにしてくださっているメンやYMCAの子どもたちもあり、最悪屋内厨房施設も利用できるということもあって、実施に踏み切ったのでした。ところが当日は大変寒い朝でしたが、天の恵みか予報に反して開催時間には眩しいくらいの陽も射し、早くから伊藤、幸正、澁谷各メンが作って下さったかまど2基で快調に美味しい、美味しい芋鍋が出来上がりました。レストランは少年野球の行事で賑わっていたので、会議室での芋煮会食となりました。参加者はYMCAから子ども3名、保護者3名、名古屋グランパスクラブの下村明子さん父娘、当金沢クラブは伊藤夫妻、山谷夫妻、数沢夫妻、高口メン、幸正メン、澁谷メン、山内メンの10名で計18名でした。下村さんは丁度お母様が金沢21世紀美術館で作品展を開いていらっしゃるとのこと、素敵なお父様とご一緒に芋煮に舌鼓を打ち、和やかな歓談のひと時を楽しまれたようです。芋煮は子どもたちにも好評でお代りをしてお腹いっぱい食べた後、野外でボール遊びなどを楽しんでいました。終わり頃に犀川クラブの平口メンが駆けつけてこられ、記念写真を撮っていただきお開きとなりました。

かくして、今年も恒例の芋煮会はみんなの協力のもと、無事に開催することができました。感謝申し上げます。

(数沢 淑子記)

いも煮会 天候に恵まれて



(金沢犀川ワイズの平口氏撮影)